

## 「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

### 研究課題名：B. LEAGUEにおける3シーズンの外傷・障害発生状況の調査

#### ・はじめに

日本のバスケットボール競技において、大学レベルでは関東大学バスケットボールリーグの疫学データが学術的に報告され、外傷・障害の発生率や重症度といった課題の程度が検証され始めていますが、国内トップリーグであるB. LEAGUE では、リーグ運営を目的とした外傷・障害サーベイランスは運用されているものの、そのデータは学術的に未検証のままです。国内トップリーグであるB. LEAGUE において科学的根拠に基づいた外傷・障害予防を推進することは、リーグ所属選手への恩恵があるだけでなく、より若い年代を含むバスケットボール界全体の外傷・障害予防レベルを向上させる上で極めて意義が大きいと考えられます。そこで、本研究では、B. LEAGUE SCS 推進チームにより、科学的根拠に基づく外傷・障害予防の第1ステップとなる疫学データを提供することを目指し、外傷・障害サーベイランスにより得られた過去3年間の外傷・障害データを用いて、B. LEAGUE における外傷・障害発生状況を学術的に定量化することを目的とします。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

#### ・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

本研究では、B. LEAGUE がリーグ運営の目的のために実施した外傷・障害サーベイランスにより取得した既存の外傷・障害データ（2022-23、2023-24、2024-25 シーズン分）を科学的根拠に基づく外傷・障害予防に向けた疫学データを提供することを目的として解析します。本研究で解析する外傷・障害データは、B. LEAGUE が取得し B. LEAGUE が保有する個人情報加工して生成され、B. LEAGUE SCS 推進チームの一員である研究責任者（株式会社ユーフォリア・山中美和子）及び研究代表者（群馬大学大学院保健学研究科・小林匠）がB. LEAGUE SCS 推進チームの研究として使用します。データの受け渡しは、研究責任者（株式会社ユーフォリア・山中美和子）と研究代表者（群馬大学大学

院保健学研究科・小林匠)のみがアクセス可能な Google ドライブ上で行います。

#### ・研究の対象となられる方

本研究における対象者の基準は以下の通りです。

##### 【適格基準】

2022-23 シーズンから 2024-25 シーズンまでの 3 シーズンにおいて、B1・B2 リーグ全 38 チームのいずれかに所属していた選手

2022-23 シーズンから 2024-25 シーズンまでの 3 シーズンの間に外傷・障害が発生し、外傷・障害サーベイランスにデータが保管されている選手

##### 【除外基準】

研究参加への拒否の申し出をした選手

研究の対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。希望されない旨のご連絡をいただいた方の情報は、研究には使用しません。また、研究対象者が死亡している、または研究参加の判断が困難と客観的に判断される場合には、代諾者からの拒否の連絡も受け付けます。代諾者は研究対象者の配偶者、父母、兄弟姉妹、子・孫、祖父母、同居の親族、上記近親者に準ずると考えられる者、研究対象者の代理人（代理権を付与された任意後見人を含む）とします。ただし、対象となることを希望されないご連絡が、論文等に公表された時点以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

#### ・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より 2030 年 3 月 31 日までです。試料・情報を利用又は提供を開始する予定日は 2025 年 11 月です。

#### ・研究に用いる試料・情報の項目

2022-23 シーズンから 2024-25 シーズンまでの 3 シーズンにおける B1・B2 リーグ全 38 チームの試合中の離脱を伴う全外傷・障害、受傷部位・種類、属性区分（例：国籍区分、ポジション、年齢等）ごとの発生率や重症度等のデータを利用します。また、3 シーズンにおいて発生頻度が高かった外傷・障害については、受傷時のプレー時間やプレータイプ、プレーエリアなどに関するデータも利用します。

#### ・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで選手に新たな負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった選手が直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果はバスケットボールにおける外傷・障害リスクの解明や新しい予防法の発見の一助になり、多くの選手の健康とパフォーマンスに貢献できる可能性があると考えています。

#### ・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、B. LEAGUE がリーグ運営目的で取得し、B. LEAGUE と株式会社ユーフォリアが保有する既存の外傷・障害データは、本研究のために採番された研究用 ID を付与し、解析用データに紐付ける仮名加工を施します。また、B. LEAGUE と株式会社ユーフォリアの間で使用している ID と研究用の ID の対応表を作成し、この対応表は暗号化機能付き外部ストレージに保存し、研究責任者(株式会社ユーフォリア・山中美和子)のみが施錠できる保管庫にて保管することで、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、選手を特定できる情報は含まれません。なお、群馬大学は対応表の提供は受けません。

#### ・試料・情報の保管及び廃棄

この研究の解析に用いる外傷・障害データは、B. LEAGUE SCS 推進チームの一員である研究代表者(群馬大学大学院保健学研究科・小林匠)と共同研究機関の研究責任者(株式会社ユーフォリア・山中美和子)がそれぞれ外部ストレージに保存し、施錠可能な保管庫で保管されます。解析が終了したデータおよび対応表は研究終了後10年間保管した後、電子的に完全に消去・破棄いたします。

#### ・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合でも、特許権等はB. LEAGUEに帰属することになり、研究の対象となった方にこの権利が生じることはありません。

#### ・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、研究代表者の教員研究費にてまかなわれます。

#### ・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床

研究の結果の公表が公正に行われたいのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。共同研究機関においては、各機関で定められた規程に基づき、本研究に係る利益相反に関する状況について必要な手続きを行います。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は、B. LEAGUE SCS 推進チームのプロジェクトの一環として、B. LEAGUE SCS 推進チームの一員である群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学の小林匠が主体となって実施する多機関共同研究です。B. LEAGUE が B. LEAGUE SCS 推進チームに所属する研究代表者（群馬大学大学院保健学研究科・小林匠）および研究責任者（株式会社ユーフォリア・山中美和子）に情報を提供し、解析を行っています。

この研究を担当する研究代表者、共同研究機関 研究責任者、既存資料・情報の提供のみを行う者は以下のとおりです。

研究代表者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科・教授  
B. LEAGUE SCS 推進チーム

氏名：小林 匠

連絡先：027-220-8972

共同研究機関 研究責任者

所属・職名：株式会社ユーフォリア・リサーチャー  
B. LEAGUE SCS 推進チーム

氏名：山中 美和子

連絡先：miwako.yamanaka@eu-phoria.jp

既存資料・情報の提供のみを行う者

所属・職名：公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ・バスケットボールオペレーショングループ  
B. LEAGUE SCS 推進チーム

氏名：数野 真吾

連絡先：skazuno@bleague.jp

**・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について**

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

**【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】**

所属・職名：群馬大学大学院 保健学研究科・教授

氏名：小林 匠（研究代表者）

連絡先：〒371-8514

群馬県前橋市昭和町 3-39-22 群馬大学大学院 保健学研究科

Tel：027-220-8972

所属・職名：株式会社ユーフォリア・リサーチャー

氏名：山中 美和子（研究責任者）

連絡先：〒102-0083

東京都千代田区麹町 4丁目 8-1 クリスタルシティ東館 10F

Email: info-rinri@eu-phoria.jp

（※株式会社ユーフォリアが実施・参画する研究に参加中の方、もしくは過去に参加した方からのご相談を受け付けるメールアドレス）

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- （1）研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
  - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
  - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
  - ③利用する者の範囲
  - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
  - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法